

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 2 月 21日～

事業所名 放課後等デイサービス あいわ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	①マットを敷いて怪我防止をしています。 ②ソファを置くなどして落ち着ける場所を設けています。 ③屋内広場を利用し、ボール遊び等している。	広いスペースを利用して体を使った遊びを取り入れていき、苦しい遊びを楽しく出来るように、安全かつ楽しく過ごせる環境や場所の提供に努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	利用人数や利用児の特性によって職員を増やしています。	適切な配置数で支援できるように今後も継続してまいります。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	60%	40%	0%		支援会議等を行いながら、目標設定や職員の意思統一をはかり、ミーティング等で振り返りに努めています。
	4	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	連絡帳にて保護者へ子供の様子を伝え、支援内容への理解を得ています。	状況に応じてアンケートを作成、配布し、保護者様の意向に合わせた支援に努めています。
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	HPにて開いていますし、利用者の靴箱の前の掲示板に掲載しています。	事業所内ホームページでの開示を行っています。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	40%	60%	0%	月一回の支援会議や、朝夕のミーティングを通して問題点を含めた話し合いを行っている。	より多くの研修会参加や、支援会議・ミーティングの質の向上に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	児童調査票に記入してもらい、保護者様のニーズ、現在の状況の確認を行いました。	支援計画作成の際には情報確認や職員間での見直しを行っています。今後も継続してまいります。
	8	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	①日頃の情報共有をしています。 ②朝夕のミーティングで活動内容の確認をしています。	年間スケジュール作成とは別に支援会議等で行事、イベントの話し合いをし、毎月の活動・制作の予定、見直しを行う。今後も継続してまいります。
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	リーダー制を設け、日々の支援が広がるよう工夫している。	一人一人の児童が楽しく参加できるように計画をしています。今後も継続してまいります。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	20%	0%	しおりを作成し、事前に予定が解るようにした。	長期休みはしおりを作成して事前に視覚でお知らせができるようにしたいと思っております。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 状況	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%	0%	児童調査票の記入を保護者様に協力を得ています。	話し合いの中で子供が成長できるように放課後等デイサービス支援計画を作成しています。
	12	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%	0%	役割分担をすることでスムーズに活動が出来るが、人によって活動内容の把握が出来てない時がある。	全職員が把握できるように、事細かに説明し、理解できるように何度も話し合いをして行きたいと思います。
	13	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%	話し合ったことを次へとつなげられる様、個人の振り返りが出来る様に今後はしていきたい	問題点は会議を持ち対応について話しをしていき、情報のもれがないようにしていきます。
	14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	ミーティングで情報共有を図り、より正確な記録となるよう工夫している。	ケース記録の徹底、ミーティングでの振り返りに努め、改善を図っていきます。
	15	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%		モニタリングの内容を基に、放課後等デイサービス計画の見直しをしていきます。
	16	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	60%	40%	0%		基本的な活動の取入れ、新しい活動等を支援会議等で話し合い取り入れていくようにしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者が出席しています。会議内容をミーティングで報告して情報共有しています。	会議出席者より必ず報告を受け、情報共有に努めていきます。
	18	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	0%	通常ラインでの対話であるが、特別な内容等の場合は、直接電話や、訪問等して連絡を取っている	担当者会議や連絡ノートでの確認、また送迎時に担任の先生と情報共有をしています。今後も継続していきます。
	19	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	20%	40%		医療ケアの必要な児童を現在は受け入れていません。
	20	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	10%	80%		現在は卒業生がいませんが、今後は状況に応じて対応出来るよう、記録をまとめておきます。
	21	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	12%	12%	療育を受けている児童を通して情報共有を行い、支援に繋げている。	今後研修に参加出来れば参加していきたいと思えます。
	22	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%		現在は交流等していないが、今後機会があれば活動の場を広げられるように努めていきます。
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	20%	0%	①その日の様子を送迎の際に伝えます ②連絡ノートの活用をしています。	信頼関係が持てるよう、連絡ノート、ライン等で、送迎時の際、伝達をしていきます。今後も継続して行きます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	24	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約時に説明を行い、理解して頂いている。	契約時に行っていますが、不明な点や、周知する内容においては、その都度手紙等で伝えていきます。
	25	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	電話等で話を聞く様にしています。	保護者様からの相談等にはには答えておりますが、適切な助言が出来るように努めてまいります。
	26	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	20%	60%	昨年度コロナで保護者会を中止としました。	今年度は3月18日に予定をしております。
	27	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	全体で話し合いを持ち、保護者へ説明できるようにしている。	苦情については適切な対応に今後も務めていきます。
	28	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	通信の発行を年に4回程度発行するようにしています。	通信の定期的に発行、連絡ノートの活用を今後も継続していきます。
	29	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	①個人情報に関する書類は、鍵付き書庫に保管しています。 ②個人情報（写真等）同意書を頂いています。	個人情報の取り扱いには十分に注意して対応していきます。
	30	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%	連絡ノート配布書類の活用、また、個別のラインや電話での連絡など様々なツールで行っている。	ボード、絵カード等で理解できるよう支援していきます。1日の予定を視覚で伝えられる様に支援していきます。
31	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	40%	60%	日常の中で顔を合わせる機会も少なく挨拶から周知して頂くようにしています。	お花を植えている事で、声掛け等される方もいるので、まず、事業所の内容を知っていただく事に努めていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	32	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	20%	0%		避難訓練、避難場所についてはプリントを配布しお知らせしています。各マニュアルについては更新都度、職員全員に周知していきます。
	33	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	年に2回実施しています。訓練実施報告書の作成	利用児童全員の参加が難しい状況ですが、曜日の確認を取りながら、全員参加を目指します。
	34	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	20%	0%	①虐待防止委員会の発足 ②今年度はあいわ福祉農園合同会社全体での職員研修を行いました。	今年度より事業所内ホームページでの開示を行ったいきます。虐待防止委員会を発足、また職員研修を行いました。今後も継続していきます。
	35	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	60%	20%	0%	契約時に保護者様に説明をして同意書を頂いています。	契約時に同意書を得ていますが、必要に応じて説明を行います。
	36	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	40%	40%	現在食物アレルギーの児童はいませんが、動物アレルギーの児童が居るため、外出時等動物と触れ合いがある時は、保護者へ確認をしている。	該当児童はいませんが、今後必要な場合は対応していきます。
37	ヒヤリハットを作成して事業所内で共有している	80%	20%	0%	詳細はヒヤリハットやケース記録に記録して、支援会議で話し合いをしています。	支援会議で共有できる体制を整えていきます。	